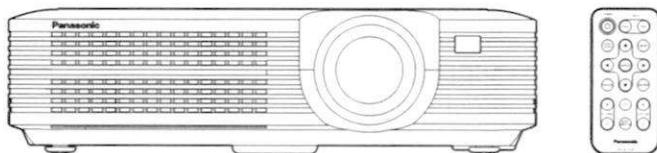


取扱説明書

品番 TH-LC75
TH-LC55



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書はTH-LC75、TH-LC55共用の取扱説明書にしています。
- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ



安全上のご注意	4	各部の名前と働き	12
付属品を確認する	9	本体前面・上面	12
お手入れ/上手な使いかた	10	本体後面・底面	13
運搬上の留意点	10	本体操作部・リモコン	14
設置に関する留意点	10	カードリモコンの収納のしかた	15
使用上の留意点	10	接続端子部	16
お掃除とお手入れ	11	RGB入力モニターについて	17
		オートセットアップについて	17
投写する	24	デジタルズーム機能 を使う	30
電源の切りかた	25	台形歪を補正する	31
オンスクリーンメニューに ついて	26		
メニュー画面一覧	26		
メニュー画面の操作方法	28		
表示されないオンスクリーン項目に ついて	28		
前の画面に戻す	28		
調整値を工場出荷設定に戻す	29		
フリーズ機能を使う	29		
オプション設定	36	バックカラー	37
OSD表示	36	投写方式1	37
自動台形補正	36	投写方式2	37
自動Y・PB・PR選択	36	ランプパワー	37
自動R・G・B入力選択	36	ランプ時間	37
RGB2入出力選択	36	FUNC1設定	37
RGBフォーマット	37		
モニターランプに ついて	42	ランプを交換する	45
エアフィルター の清掃・交換	44	ランプユニット交換上 のお願い	45
清掃手順	44	ランプユニットの交換 時期	45
		ランプユニットの交換 手順	46
		修理を依頼される 前に	48

リモコンの使いかた ……18	設置する ……22
電池の入れかた ……18	投写方式 ……22
操作範囲 ……18	投写関係 ……22
接続する ……19	投写距離 ……23
接続の前に ……19	
AV機器との接続例 ……20	
パソコンとの接続例 ……21	
映像を調整する ……32	ポジションを調整する ……34
映像モード ……32	水平位置 ……34
色の濃さ ……32	垂直位置 ……34
色あい ……32	ドットクロック ……34
黒レベル ……32	クロックフェーズ ……34
ピクチャー ……32	アスペクト ……35
シャープネス ……32	リサイジング ……35
色温度設定 ……33	
TVシステム ……33	
白バランスR/G/B ……33	
表示モード ……33	
sRGBに対応した映像にするには ……33	
シャッター機能を使う ……38	シリアル端子 ……40
表示言語を切り換える ……38	接続 ……40
インデックスウィンドウ (ダブル)機能を使う ……39	ピン配列と信号名 ……40
	通信条件 ……40
	基本フォーマット ……40
	制御コマンド ……41
	ケーブル仕様 ……41
仕様 ……50	保証と アフターサービス ……53
付録 ……52	外形寸法図 ……54
対応信号リスト ……52	




安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

- 煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

- 天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。



警告

■ エアフィルター部や排気孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■ 内部に異物や水などが入ったり、落したり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- 修理は販売店にご依頼ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■ カバーを外したり、改造したりしない



分解禁止

内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

警告

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- ・ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■水をかけたり、ぬらしたりしない



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■上に水などが入った容器を置かない



水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

- ・ 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

■異物を入れない



禁止

内部に金属類や燃えやすしいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■はずした電池は乳幼児の手の届かない所に置く



飲み込むと窒息死の原因となります。

- ・ 飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

■電池の＋・一部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

- ・ ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

■電池を廃棄する場合、テープなどで絶縁する



他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。



警告

■使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

■排気孔には手や物を近づけない



禁止

空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

■風呂場、シャワー室では使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

■ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待つて)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。



注意

- 電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります

- 電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

- 指定以外の電池を使用しない



禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

- 上に重い物を置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となる場合があります。

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となる場合があります。

- 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

- 本機に乗らない



禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

- ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

準備

付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。

カードリモコン 1個 (TNQE239) 	RGB信号ケーブル 1本 (3.0 m VGA用、 K1HA15FA0002) 	リモコン用リチウム電池 1個(CR2025) 
	電源コード 1本 (K2CA2FZ00006) 	キャリングバッグ 1個 (TPEP006) 

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お手入れ/上手な使いかた

運搬上の留意点

運搬中は必ずレンズカバーを取り付けてください

投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時には、付属のキャリングバッグを利用してください。

キャリングバッグには、本体のレンズを上側にして収納してください。

設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

天井からつり下げて設置される場合は、別売りの天つり金具(品番:TY-PKC75)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

海拔1 400 m以上でのご使用に際しては、サービスマンにご相談ください。そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

使用上の留意点

美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、レンズカバーを被せておいてください。

スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

- 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。

廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットは柔らかい乾いた布で

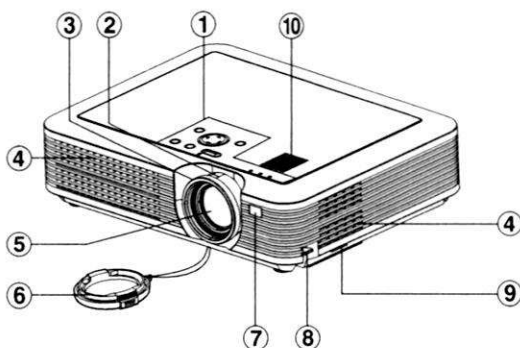
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

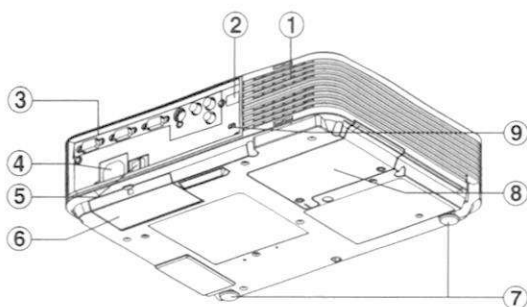
各部の名前と働き

本体前面・上面



- ① 本体操作部
(14ページ)
- ② ズームリング
(25ページ)
- ③ フォーカスリング
(25ページ)
- ④ 吸気孔
ふさがないようにしてください。
- ⑤ 投写レンズ
- ⑥ レンズカバー
- ⑦ リモコン受光部(前)
(18ページ)
- ⑧ アジャスターボタン(左・右)
(24ページ)
本機底面の前方アジャスター脚の
ロックを解除できます。押しなが
ら本機の傾きを調整します。
- ⑨ エアフィルター
(44ページ)
- ⑩ スピーカー

本体後面・底面



① 排気孔

ふさがないようにしてください。



警告

やけどや変形に注意する



高温注意

排気孔からは熱風が吹き出しますので、手や物を近づけると、やけどや変形の原因になります。

⑨ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製)などを接続することができます。また、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総代理店の連絡先は以下の通りです。

日本ポラデジタル株式会社

第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

Tel : 03-3537-1070

Fax : 03-3537-1071

※ 連絡先は変更になる可能性があります。

ご了承ください。

② リモコン受光部(後)

(18ページ)

③ 接続端子部

(16ページ)

④ AC入力(AC IN)端子

(24ページ)

付属の電源コードを接続します。付属のもの以外は接続しないでください。

⑤ 主電源(MAIN POWER)スイッチ

(24、25ページ)

⑥ カードリモコン収納部

(15ページ)

⑦ 前方アジャスター脚(左・右)

(24ページ)

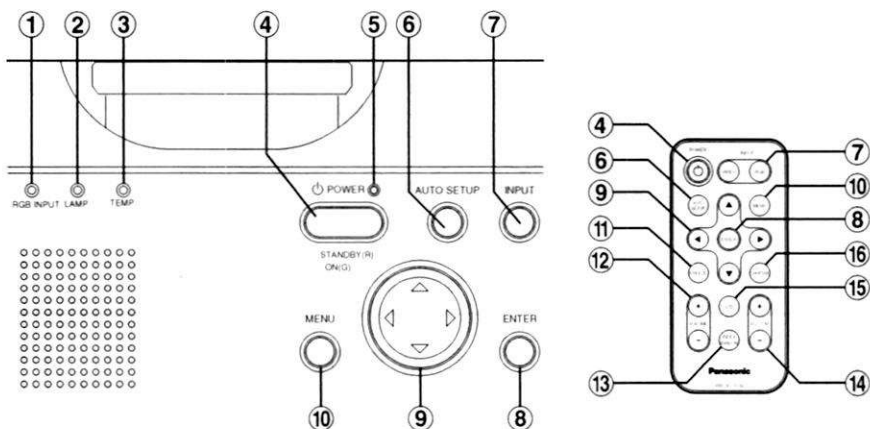
⑧ ランプユニット収納部

(45ページ)

お知らせ

- 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、ランプ点灯時や消灯時は動作音が大きくなります。
- 「オプション2」メニューの「ランプパワー」を「標準」に設定すると、動作音が低減します。(37ページ参照)

本体操作部・リモコン



● 本体操作部とリモコンには同じ機能のボタンがあります。

① RGB入力(RGB INPUT)モニター (17ページ)

RGB入力(RGB1 IN/RGB2 IN)端子の入力信号の有無を検知します。

② ランプ(LAMP)モニター (43ページ)

ランプユニットの交換時期になると点灯します。ランプ回路に異常が発生すると点滅します。

③ 温度(TEMP)モニター (42ページ)

周囲温度または本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。一定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。

④ 電源(POWER)ボタン (24、25ページ)

⑤ 電源モニター (24、25ページ)

主電源を入れると赤色に点灯し、電源が入り投写を開始すると緑色に点灯します。

⑥ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン (17、25ページ)

映像を投写してこのボタンを押せば、入力信号にあわせて自動調整します。さらに、本機の傾きを検知して台形歪を自動的に補正します。(調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。)台形歪補正による画質劣化を防止するには、「オプション1」メニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。

⑦ 入力切り換え(INPUT、RGB、VIDEO)ボタン (24ページ)

⑧ エンター(ENTER)ボタン (28ページ)

オンスクリーンメニューで、項目の決定や実行をすることができます。

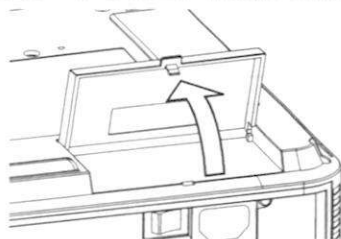
⑨ ▲▼◀▶ボタン (28ページ)

オンスクリーンメニューで項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行うことができます。

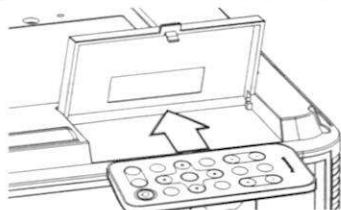
- ⑩ **メニュー(MENU)ボタン**
(26、28ページ)
メインメニューを表示させます。
メニューが表示されている時は、
前の画面に戻したり、メニューを
閉じたりすることができます。
- ⑪ **フリーズ(FREEZE)ボタン**
(29ページ)
動画を一時的に静止させます。
- ⑫ **音量(VOLUME +/-)ボタン**
(26ページ)
内蔵スピーカーの音量を調整しま
す。
本体で調整する場合は26ページ
をご覧ください。
- ⑬ **インデックスウィンドウ(INDEX
WINDOW)ボタン**
(39ページ)
静止画像と動画の2画面表示にす
ることができます。
- ⑭ **デジタルズーム(D.ZOOM +/-)
ボタン**
(30ページ)
映像を部分的に拡大することがで
きます。
- ⑮ **スタンダード(STD)ボタン**
(29ページ)
調整値を工場出荷状態に戻しま
す。
- ⑯ **シャッター(SHUTTER)ボタン**
(38ページ)
映像と音声を一時的に消すことが
できます。

カードリモコンの収納のしかた

- ① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。(25ページ参照)
- ② 本機を静かに裏返す。
- ③ カードリモコン収納部を開ける。

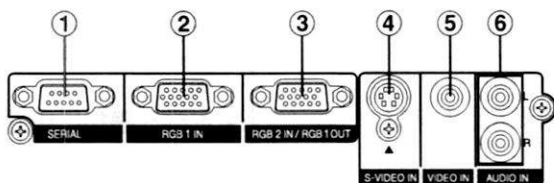


- ④ カードリモコンを収納する。



- ⑤ カードリモコン収納部を閉じる。

接続端子部



- ① **シリアル(SERIAL)端子**
(20、21、40ページ)
パソコンから本機を制御するための端子です。(RS-232C準拠)
- ② **RGB1入力(RGB1 IN)端子**
(20、21ページ)
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
- ③ **RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子**
(20、21、36ページ)
RGB信号またはYPbPr信号を入力出力する端子です。「オプション1」メニューの「RGB2入出力選択」で入出力の切り換えができます。
- ④ **Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子**
(20、35ページ)
Sビデオ対応のビデオデッキなどからの信号を入力する端子です。S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9または4:3に自動切り換えします。
- ⑤ **ビデオ入力(VIDEO IN)端子**
(20ページ)
ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。
- ⑥ **音声入力(AUDIO IN L-R)端子**
(20、21ページ)
音声入力(AUDIO IN L-R)端子は1系統しかないので、使用される機器に合わせ差し換えが必要になります。

RGB入力モニターについて

RGB入力モニターでRGB/YPbPr信号の入力の有無を確認することができます。下表を参照してください。

RGB入力モニター の状態	電源の状態	
	スタンバイ	オン(投写中)
点灯	RGB1またはRGB2入力端子のどちらかに信号が入力されている。	入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されている。
消灯	RGB1、RGB2入力端子のどちらにも信号が入力されていない。	入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されていない。

オートセットアップについて

オートセットアップボタンを押せば、下表の項目を自動設定します。入力信号によって設定項目が変わります。下表を参照ください。

	水平/垂直位置	ドットクロック/ クロックフェーズ	自動RGB入力 選択/自動 YPbPr選択	自動台形補正
ビデオ/ Sビデオ	/	/	/	<input type="radio"/>
YPbPr	/	/	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドットクロック 100 MHz以上	<input type="radio"/>	×	<input type="radio"/>	
上記以外の RGB信号			<input type="radio"/>	

お知らせ

- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力してオートセットアップを動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてからもう一度オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押すか、手動で上記の調整を行ってください。
- さらに好みの映像に調整する場合は、26ページ以降のメニュー操作で行います。

リモコンの使いかた

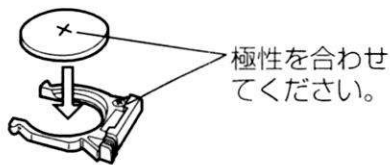
電池の入れかた

付属のリチウム電池を極性に注意して入れてください。

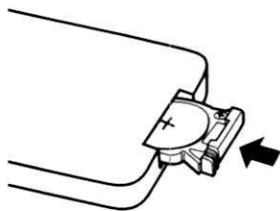
- ① 電池ホルダーのツメを右側に押しながら手前に引き出す。



- ② +側を上にして、電池を電池ホルダーにのせる。



- ③ 電池ホルダーを挿入する。



操作範囲

リモコンを直接、本機の前面/後面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、受光部正面より約7 m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。

お知らせ

- リモコンと受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射口で操作有効範囲に制限がでる場合があります。

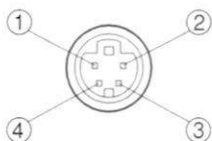
お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- 交換用の電池は、CR2025をお求めください。

接続する

接続の前に

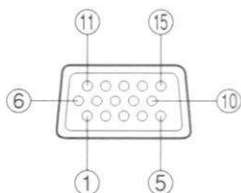
- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター(TBC)の接続が必要です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
52ページの対応信号リストをご覧ください。
- Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- RGB入力(RGB1 IN/RGB2 IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

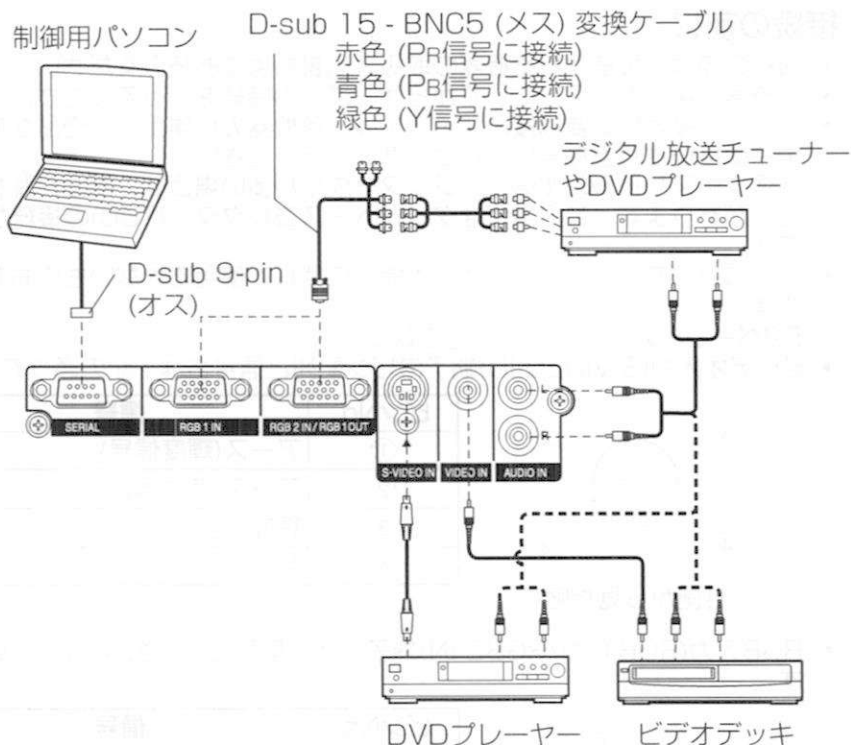
ピンNo.	信号
①	R/P _R
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P _B
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

⑨は未使用

④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。

⑫、⑮はパソコン側に機能がなければ有効です。

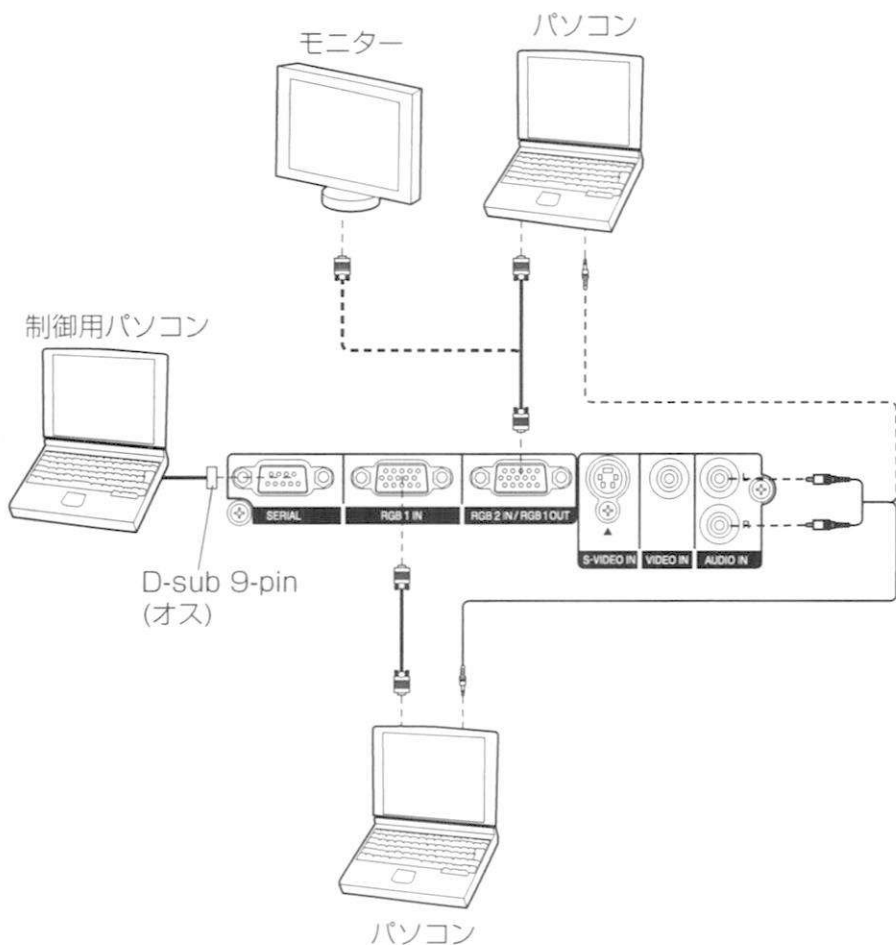
AV機器との接続例



お知らせ

- 音声入力(AUDIO IN L-R)端子は1系統しかないので、使用される機器に合わせ差し換えが必要になります。
- BNC接栓付きケーブルでビデオ信号を接続する場合は、BNC-ピン変換アダプター(市販品)でピンジャックに変換してご使用ください。
- 本機に接続できるYPbPr信号は、52ページの対応信号リストを参照ください。
- デジタルズーム、インデックスウィンドウ(ダブル)中に、信号ケーブルを抜いたり、パソコンやビデオデッキの電源を切ると、それぞれの機能が解除されます。

パソコンとの接続例



お知らせ


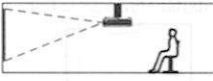
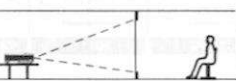
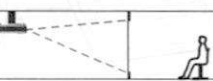
- 本機の主電源を切る前には、パソコンの電源を切ってください。
- 本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、52ページの対応信号リストを参照ください。
- 「オプション1」メニューの「RGB2入出力選択」を「出力」に設定しているときは、RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子に信号を入力しないでください。(36ページ参照)

設置する

利用者のために

投写方式

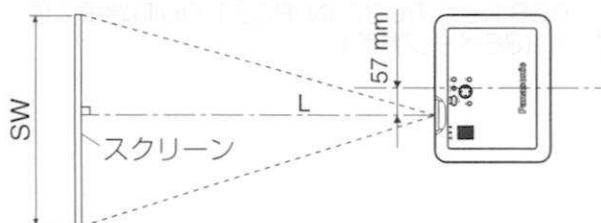
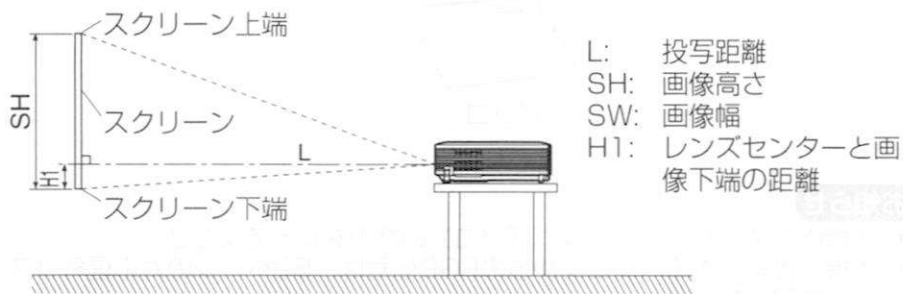
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。(投写方式の設定はオプション2メニューで行うことができます。37ページをご覧ください。)

		投写方式2	
		フロア	シーリング
投写方式1	フロント	 (工場出荷状態)	
	リア		

お知らせ

- 天つり(シーリング)設置には、別売りの天つり金具(TY-PKC75)が必要です。

投写関係



投写距離

4:3画面 サイズ (対角)	投写距離(L)				高さ位置 (H1)
	TH-LC75		TH-LC55		
	ワイド (LW)	テレ (LT)	ワイド (LW)	テレ (LT)	
33型		1.1 m		1.1 m	0.08 m
40型	1.2 m	1.4 m	1.2 m	1.4 m	0.09 m
50型	1.5 m	1.7 m	1.5 m	1.8 m	0.11 m
60型	1.8 m	2.1 m	1.8 m	2.1 m	0.14 m
70型	2.1 m	2.4 m	2.1 m	2.5 m	0.16 m
80型	2.4 m	2.8 m	2.4 m	2.9 m	0.18 m
90型	2.7 m	3.2 m	2.8 m	3.2 m	0.20 m
100型	3.0 m	3.5 m	3.0 m	3.6 m	0.22 m
120型	3.6 m	4.2 m	3.7 m	4.3 m	0.26 m
150型	4.5 m	5.3 m	4.6 m	5.4 m	0.33 m
200型	6.0 m	7.1 m	6.1 m	7.3 m	0.44 m
250型	7.5 m	8.9 m	7.6 m	9.1 m	0.55 m
300型	9.0 m	10.7 m	9.2 m	11.0 m	0.66 m

上記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。
画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。

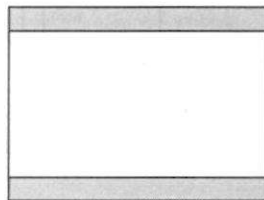
TH-LC75	TH-LC55
$LW=0.030 \times SD - 0.037$	$LW=0.031 \times SD - 0.038$
$LT=0.036 \times SD - 0.037$	$LT=0.037 \times SD - 0.038$

16:9の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

TH-LC75	TH-LC55
$LW=0.032 \times SD - 0.037$	$LW=0.033 \times SD - 0.038$
$LT=0.039 \times SD - 0.037$	$LT=0.040 \times SD - 0.038$

お知らせ

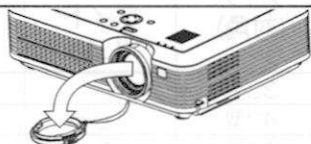
- 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- 16:9の投写距離で設置した場合は、スクリーンに対して4:3の投写映像が上下にはみ出します。



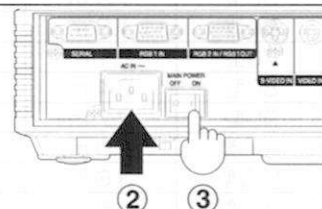
投写する

電源を入れる前に準備(19～23ページ)を完了させてください。

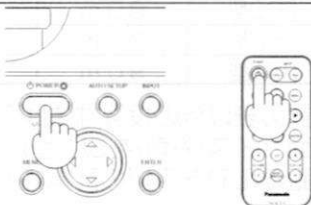
- ① レンズカバーをはずす。



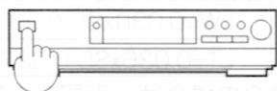
- ② 付属の電源コードを接続する。
③ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「I」側を押して電源を入れる。
本体の電源モニターが赤色に点灯します。



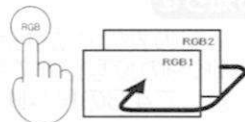
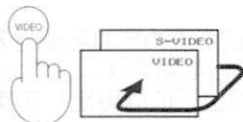
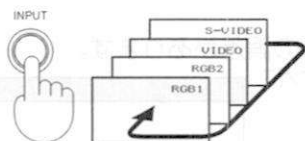
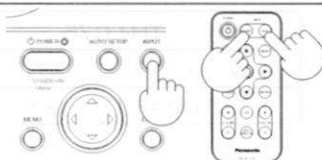
- ④ 電源(POWER)ボタンを押す。
本体の電源モニターが緑色に点滅します。しばらくすると、緑色に点灯し映像が投写されます。



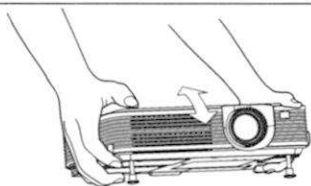
- ⑤ 接続機器の電源を入れる。
DVDプレーヤー等は再生操作を行ってください。



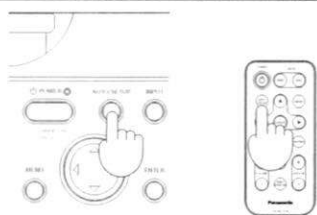
- ⑥ 入力切り換え(INPUT、RGB、VIDEO)ボタンを押して入力信号を選択する。
入力切り換え(INPUT、RGB、VIDEO)ボタンを押すと下図のように入力信号が切り換わります。



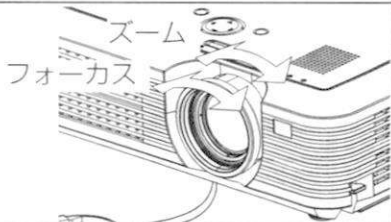
- ⑦ アジャスターボタンを押しながら本機の前傾きを調整する。



- ⑧ オートセットアップ(AUTO SETUP) ボタンを押して、自動位置補正を実行する。
台形歪が最適に補正されない場合は、31ページに記載の台形歪補正を行ってください。



- ⑨ フォーカス・ズームリングを回して画像のピントを合わせたり、投写画像サイズを調整する。



電源の切りかた

- ① 電源(POWER)ボタンを0.5秒以上または2回押す。
ランプが消え映像の投写を停止します。(本体の電源モニターがオレンジ色に点灯します。投写は停止しますが、冷却ファンは回転しています。)
- ② 本体の電源モニターが赤色に点灯する(冷却ファンが停止する)まで待つ。
冷却ファンが回転している間は絶対に主電源(MAIN POWER)スイッチを切ったり、電源コードを抜いたり、テーブルタップの電源スイッチを落としたりしないでください。
- ③ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「○」側を押して電源を切る。

お知らせ

- 電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れると、すぐには点灯せず、しばらくたってから自動的に点灯します。(この間は、本体の電源(POWER)ボタンがオレンジ色に点滅します。)
- 本機はスタンバイ状態で冷却ファンが停止(本体の電源モニターが赤色に点灯)した状態でも約2 Wの電力を消費しています。
- 使用中に間違って主電源を切った場合などは、電源を入れてもただちに光源ランプが点灯しないことがあります。この場合、しばらくたってから自動的に再点灯を行います。(この間は、本体の電源モニターが緑色に点滅します。)
- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

メインメニュー

メインメニュー	
台形補正	
映像	
ポジション	
インテックス ダブル	
シャッター	
音声	
言語	
オプション1	
オプション2	
選択	ENTER 実行

台形補正
(31ページ)

インテックスダブル機能
(39ページ)

シャッター機能
(38ページ)

音量調整
エンター(ENTER)ボタンを押し、
◀または▶を押すと音量を調整できます。

オプション2 (36ページ)

オプション2	
バックカラー	ブルー
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア
ランプパワー	高
ランプ時間	10時間
FUNC1設定	インテックス
選択	調整 MENU終了

オプション1 (36ページ)

オプション1	
OSD表示	オン
自動台形補正	オン
自動Y・PB・PR選択	オン
自動R・G・B入力選択	オン
RGB2入出力選択	入力
RGBフォーマット	Y・PB・PR
選択	調整 MENU終了

表示言語 (38ページ)

言語		日本語
ENGLISH		
DEUTSCH		
FRANÇAIS		
ESPAÑOL		
ITALIANO		
日本語		
中文		
選択	ENTER 実行	MENU 終了

お知らせ

- オンスクリーン画面に台形補正は機能しません。

映像

(32ページ)

RGB/YPbPr信号入力時

映像	
映像モード	← スタンダード →
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	0
色温度設定	← 標準 →
白バランスR	3 2
白バランスG	3 2
白バランスB	3 2
表示モード	SVGA
標準	
◆ 選択	◀▶ 調整 MENU終了

Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像	
映像モード	← スタンダード →
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	4
色温度設定	← 標準 →
TVシステム	← AUTO1 →
標準	
◆ 選択	◀▶ 調整 MENU終了

ポジション

(34ページ)

RGB/YPbPr信号入力時

ポジション	
水平位置	6.4
垂直位置	3 2
ドットクロック	3 2
クロックフェーズ	1.6
アスペクト	← 4:3 →
リサイジング	← オン →
標準	
◆ 選択	ENTER実行 MENU終了

Sビデオ/ビデオ信号入力時

ポジション	
水平位置	3 2
垂直位置	1.6
アスペクト	← 4:3 →
リサイジング	← オン →
標準	
◆ 選択	ENTER実行 MENU終了

メニュー画面の操作方法

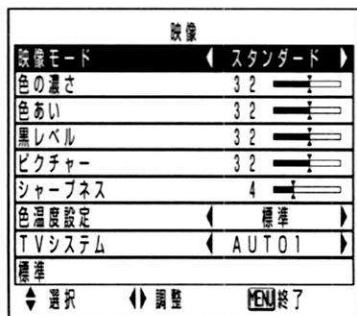
- ① メニュー(MENU)ボタンを押す。
メインメニュー画面を表示します。



- ② ▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ。
選択中の項目は青色で表示します。



- ③ エンター(ENTER)ボタンを押し決定する。
選択したメニューや調整画面が表示されます。(例：映像の調整)



- ④ ▲または▼ボタンを押して項目を選び、◀または▶を押して設定の切り換えや調整を行う。
バースケールの項目は、下図のような個別調整画面が表示されま



調整値が工場出荷状態以外になるとバースケールが緑色になります。

表示されないオンスクリーン項目について

本機には入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、オンスクリーンの項目が表示されず、エンター(ENTER)ボタンを押しても実行できません。

前の画面に戻す

メニュー画面が表示されている状態でメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。
メインメニューが表示されている状態でメニュー(MENU)ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

調整値を工場出荷設定に戻す

リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。ただし、表示されている画面によって動作が異なります。

- メニュー画面表示時

映像	標準
映像モード	◀ スタンダード ▶
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	4
色温度設定	◀ 標準 ▶
TVシステム	◀ AUTO1 ▶
標準	

▲ 選択 ENTER 実行 MENU 終了

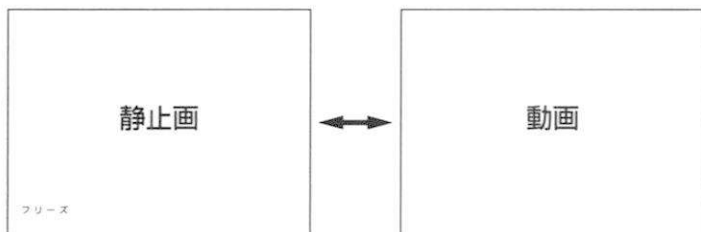
表示されている項目がすべて工場出荷時の状態に戻り、メニューの右上に「標準」と表示され、バースケールが白色表示になります。

お知らせ

- ▲▼ボタンで「標準」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。

フリーズ機能を使う

リモコンのフリーズ(FREEZE)ボタンを押すごとに静止画と動画を切り換えます。



- 個別調整画面表示時

黒レベル 3 2

調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻り、バースケールが白色で表示されます。

お知らせ

- バースケールの上下の三角マークは、工場出荷状態を示しています。三角マークが無い項目は、工場出荷状態に戻せません。

工場出荷時の標準値を示しています。



現在の調整値を示しています。

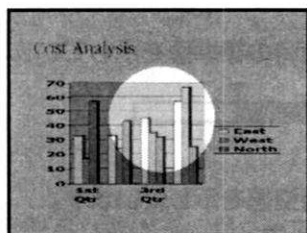
- 三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。

デジタルズーム機能を使う

映像を部分的に拡大することができます。また、拡大部分選択するためのスポット表示モードは、プレゼンテーション時の演出にも利用できます。

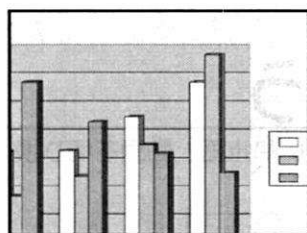
① デジタルズーム(D.ZOOM +/-) ボタンを押す。

スポット表示モードになります。



② ▲▼◀▶ ボタンで拡大したい部分にスポットを移動し、エンター(ENTER)ボタンを押して決定する。

スポットで選択した部分の周辺を2.0倍で拡大した画面になります。



③ デジタルズーム(D.ZOOM +/-) ボタンで倍率を変える。

倍率は1.0倍から2.0倍まで0.1ごとに調整できます。

お知らせ

- RGB信号入力時は、1.0倍から3.0倍まで調整できます。

④ メニュー(MENU)ボタンを押し、元の画面に戻す。

スポット表示モードには戻りません。スポット表示モードを表示させるには、メニュー(MENU)ボタンを押して拡大画面を解除してからもう一度デジタルズーム(D.ZOOM +/-)ボタンを押してください。


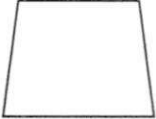
お願い

- リモコンを使わなければ、この機能を利用することができません。
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。

台形歪を補正する

本機のオートセットアップ機能を使用すれば自動的に台形歪も補正されますが、スクリーンが傾いている場合には正しく補正されません。このような場合は、下記の手順で台形歪を補正してください。

- ① メインメニューの「台形補正」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す。
- ② ◀▶ ボタンを押して台形歪を補正する。

画像の状態	操作
	▶ ボタンを押す
	◀ ボタンを押す

- ③ メニュー(MENU)ボタンを押し、元の画面に戻す。

お 願 い

- 調整後、オートセットアップボタンを押すと、自動台形歪補正が機能し補正が正しくない状態に戻ります。このような場合は、「オプション1」メニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。

お 知 ら せ

- 台形歪は、本機の前後の傾きに対して±30度まで補正できますが、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。なるべく、よい画質で投写したい場合はできるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。

映像を調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。

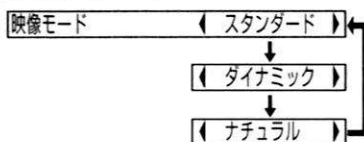
RGB/YPbPr信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタンダード ▶
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	0
色温度設定	◀ 標準 ▶
白バランスR	3 2
白バランスG	3 2
白バランスB	3 2
表示モード	SVGA
標準	
▲ 選択	◀▶ 調整

Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタンダード ▶
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	4
色温度設定	◀ 標準 ▶
TVシステム	◀ AUTO1 ▶
標準	
▲ 選択	◀▶ 調整

映像モード



映像ソースや部屋の環境に合わせて見やすい映像に切り換えることができます。

暗い部屋で使用する場合は「ナチュラル」に、標準的な明るさで使用する場合は「スタンダード」に、明るい場所で使用される場合は「ダイナミック」に設定してください。

色の濃さ

(Sビデオ/ビデオ/YPbPrのみ)

色が濃い場合は◀ボタンを、うすい場合は▶ボタンを押してください。

色あい

(NTSC/NTSC4.43/YPbPrのみ)

肌色の部分を調整します。緑色がかかった色の場合は◀ボタンを、赤紫色がかかった色の場合は▶ボタンを押してください。

黒レベル

画面の暗い部分(黒色)を調整します。黒がつぶれている場合(髪の毛などが見えにくい)は▶ボタンを、黒が浮いている(黒が白っぽい)場合は◀ボタンを押してください。

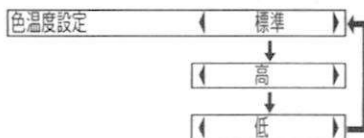
ピクチャー

色の明暗度を調整します。明るい場合は◀ボタンを、暗い場合は▶ボタンを押してください。(黒レベルを先に調整してください。)

シャープネス

映像をはっきりきわだたせる場合は▶ボタンを、やわらかい感じにするには◀ボタンを押してください。

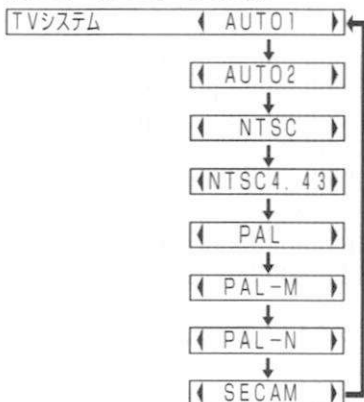
色温度設定



映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えてください。

TVシステム

(ビデオ/ビデオのみ)



「AUTO1」 NTSC/NTSC4.43/PAL/SECAMの中から自動的に判別します。

「AUTO2」 NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動的に判別します。

通常は「AUTO1」または「AUTO2」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

白バランスR/G/B

(RGBのみ)

映像の白色部分に色がついているような場合に調整します。

◀ボタンを押すと選択した色が弱くなり、▶ボタンを押すと選択した色が強くなります。

表示モード

(RGB/YPbPrのみ)

現在投写している信号名を表示します。信号の詳細については52ページの表をご覧ください。

sRGBに対応した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。sRGBに対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

- ① ▲▼ボタンを押し「映像モード」を選択し、◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する。
- ② リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押す。
- ③ ▲▼ボタンを押し「色温度設定」を選択し、◀▶ボタンで「標準」に設定する。

お知らせ

- RGB信号入力時のみ、sRGBに対応します。(ランプパワー「高」設定時)

ポジションを調整する

パソコンなどのRGB信号入力時は、まずオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押し、自動位置補正を行ってください。自動位置補正を行っても最適な設定にならない場合は、以下の調整を行ってください。

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。

RGB/YPbPr信号入力時

ポジション	
水平位置	6.4
垂直位置	3.2
ドットクロック	3.2
クロックフェーズ	1.6
アスペクト	◀ 4:3 ▶
リサイジング	◀ オン ▶
標準	
◀ 選択	ENTER 実行
	MENU 終了

Sビデオ/ビデオ信号入力時

ポジション	
水平位置	3.2
垂直位置	1.6
アスペクト	◀ 4:3 ▶
リサイジング	◀ オン ▶
標準	
◀ 選択	ENTER 実行
	MENU 終了

水平位置

◀ボタンを押せば左に、▶ボタンを押せば右に映像が移動します。

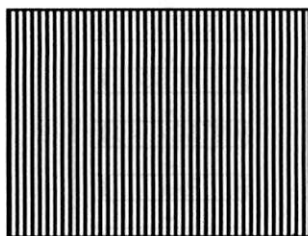
垂直位置

◀ボタンを押せば下に、▶ボタンを押せば上に映像が移動します。

ドットクロック

(RGBのみ)

下記のような縞模様を投写した場合には、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合に◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



クロックフェーズ

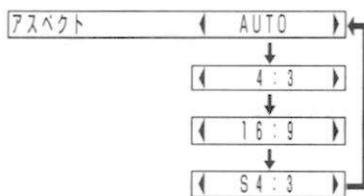
(RGBのみ)

「ドットクロック」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ

- ドットクロック周波数が100 MHz以上の信号を投写時は、「クロック調整」や「クロック位相」を調整してもノイズがなくならない場合があります。

アスペクト



ビデオ/Sビデオ信号またはYPbPr信号で525i(480i)、525p(480p)、625i信号のみ有効です。

「AUTO」 (Sビデオのみ)
Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。

「4:3」 入力された信号をそのまま投写します。

「16:9」 16:9に映像を圧縮して投写します。

「S4:3」 入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です。)

S1映像信号とは

- S1映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。
- 上記の設定を「AUTO」にしていれば、本機は検知信号を検出し、自動的に16:9に変換して映像を投写します。

お願い

- 本機はアスペクト比切り換え機能を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、アスペクト比をお選びください。

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意事項。

- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像でご覧ください。

リサイジング

通常は「オン」に設定してください。(液晶パネルよりも画素数が少ない信号のみ。詳細は52ページ参照)

- 「オン」 入力信号の画素数を液晶パネルの画素数に変換して表示します。画素数の少ない信号でも足りない画素を自動的に補って投写します。映像によっては見えづらくなる場合があります。
- 「オフ」 画素変換を行わず、映像信号の画素数をそのまま投写します。映像が小さく投写されますので、ズームを調整するか設置位置を前後させて調整してください。

オプション設定

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定を切り換えてください。

オプション1		
OSD表示	◀	オン ▶
自動台形補正	◀	オン ▶
自動Y・PB・PR選択	◀	オン ▶
自動R・G・B入力選択	◀	オン ▶
RGB2入出力選択	◀	入力 ▶
RGBフォーマット	◀	Y・PB・PR ▶
▲ 選択	◀▶ 調整	MENU終了

オプション2		
バックカラー	◀	ブルー ▶
投写方式1	◀	フロント ▶
投写方式2	◀	リア ▶
ランプパワー	◀	高 ▶
ランプ時間		10時間
FUNC1設定	◀	インデックス ▶
▲ 選択	◀▶ 調整	MENU終了

OSD表示

「オン」 入力信号切り換え時に入力名を画面右上に表示します。

「オフ」 入力名を表示させたくない場合に設定してください。

自動台形補正

通常は「オン」に設定してください。

「オン」 オートセットアップ時に、本機の傾きを検出し自動的に台形歪を補正します。

「オフ」 スクリーンが傾いている場合など、オートセットアップ時に自動台形補正をさせたくない場合に設定してください。

自動Y・PB・PR選択

入力信号	自動Y・PB・PR選択	
	オン	オフ
HDTV60 HDTV50	同期信号の状態によりRGB/YPbPrを自動的に選択します。	RGBフォーマットの設定が有効になります。
その他	同期信号の状態によりRGB/YPbPrを自動的に選択します。	

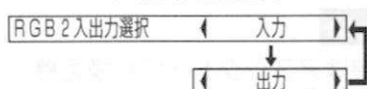
自動R・G・B入力選択

通常は「オン」に設定してください。

「オン」 オートセットアップ時にRGB1または2端子のうち信号が入力されている端子を自動的に選択し、投写されます。(映像が投写されていれば自動切り換えは行われません。)

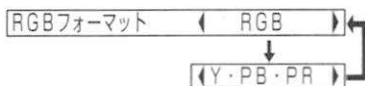
「オフ」 オートセットアップ時に、自動的に入力切り換えをさせたくない場合に設定します。

RGB2入出力選択



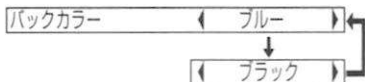
RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子で信号を入力するか、出力するかを切り換えます。

RGBフォーマット



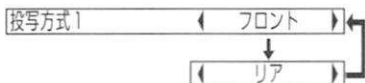
HDTV信号を入力し、「自動Y・PB・PR選択」の設定が「オフ」の場合のみ有効になります。

バックカラー



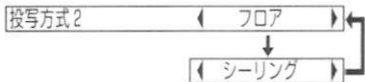
本機に信号が入力されていない時のバック画面の色を設定します。

投写方式 1



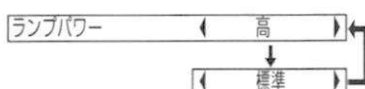
本機の設置方法によって切り換えます。通常の反射式スクリーンを使用してスクリーン前方に本機を設置する場合は「フロント」に、透過式スクリーンを使用してスクリーンの後方に本機を設置する場合は「リア」に設定します。

投写方式 2



本機の設置方法によって切り換えます。通常、机の上などに設置して使用する場合は「フロア」に、別売りの天つり金具を利用して天井などに設置する場合は「シーリング」に設定します。

ランプパワー



ランプの明るさを切り換えます。「標準」に設定すると輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。狭い会議室など高い輝度を必要としない場合は「標準」に設定されることをおすすめします。

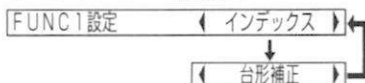
ランプ時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。ランプユニットを交換するとリセットされて「0」になります。

お知らせ

- ランプの寿命は使用条件(「ランプパワー」の設定や電源の切りの回数など)により変わります。

FUNC1 設定



別売りのフル機能リモコン(TW-RM100)のF1ボタンの機能を設定します。

「インデックス」付属のカードリモコンのインデックスウィンドウ(INDEX WINDOW)ボタンと同じ働きになります。(39ページ)

「台形補正」メインメニューの「台形補正」を選択するのと同じ働きになります。(31ページ)

シャッター機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができる、消費電力が少ないシャッターモードにすることができます。

- ① リモコンのシャッター(SHUTTER)ボタンを押す。
メインメニューの「シャッター」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。
- ② リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。

表示言語を切り換える

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで言語を選択し、エンター(ENTER)ボタンで決定してください。

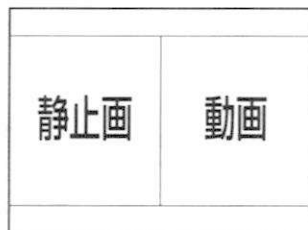


設定されている言語を表示します。

インデックスウィンドウ (ダブル)機能を使う

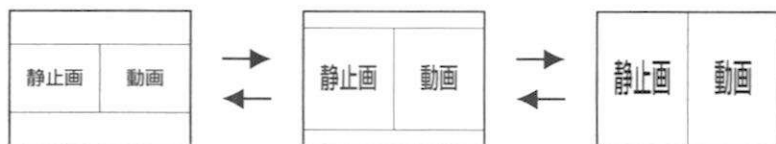
投写中の画像をメモリーに記録し、静止画像と動画の2画面表示にすることができます。

- ① リモコンのインデックスウィンドウ(INDEX WINDOW)ボタンを押す。
メインメニューの「インデックスダブル」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。

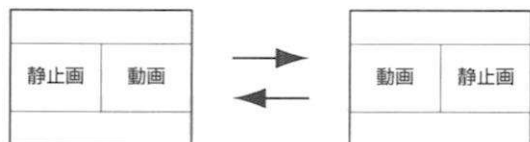


お知らせ

- 画面のアスペクト比が変わり、画像が通常より縦長になります。
- ② ▲▼ボタンで画面サイズを設定する。
3段階に切り換えることができます。



- ③ ◀▶ボタンを押して左右の静止画と動画を切り換える。



- ④ エンター(ENTER)ボタンを押して画像をメモリーに記録する。

お願い

- 画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。35ページの「アスペクト」のお願いを十分理解した上でご使用ください。

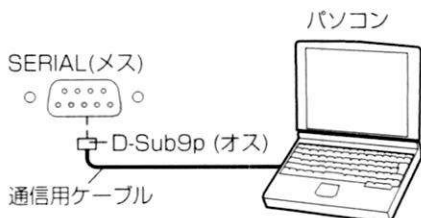
お知らせ

- 前述の手順②、③を行うとメモリーがリセットされ画像が改めてメモリーに記録されます。
- インデックスウィンドウ中に入力信号の種類が変わると、インデックスウィンドウ機能が解除されます。

シリアル端子

本機側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

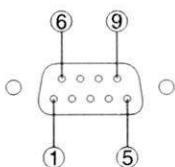
接続



お願い

- シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名



D-Sub 9p (外側から見た図)

ピン NO.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	ます
⑨		NC

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

STX	コマンド	:	パラメーター	ETX
スタート (02h)	3 byte		1 byte-5 byte	エンド (03h)

お願い

- ランプ点灯開始後、約10秒間はコマンドを受信できませんので、必ず10秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から"ER401"というコマンドがパソコン側に送信されます。

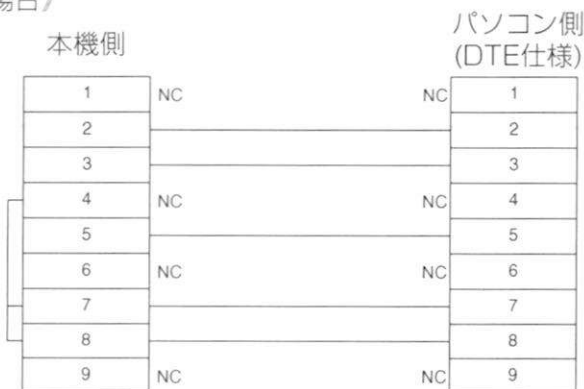
制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 <ul style="list-style-type: none"> ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約40秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000(調整値0)~063(調整値63)
IIS	入力切り換え	パラメーター VID=VIDEO SVD=S-VIDEO RG1=RGB1 RG2=RGB2
Q\$\$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0=スタンバイ 1=ランプ点灯制御中 2=ランプ点灯 3=ランプ消灯制御中

ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》



応用

モニターランプについて

本機には内部の状態を知らせる温度(TEMP)とランプ(LAMP)のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせします。電源を切り、次の処置をしてください。

温度(TEMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯 (映像投写中)	赤色点滅 (映像投写中)	赤色点滅 (スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	内部が異常に高温になっている、または急激な温度変化が生じている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none">通風孔がふさがれていませんか。気温の高いところで使用していませんか。エアフィルターがめづまりしていませんか。		
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none">通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。25ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの清掃(44ページ参照)を行ってください。		

ランプ(LAMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している	
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れた時に「ランプ交換」というオンスクリーン表示がされていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ランプ回路に異常が発生していません。
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が1800時間(ランプパワー「高」設定時)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 25ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お願い

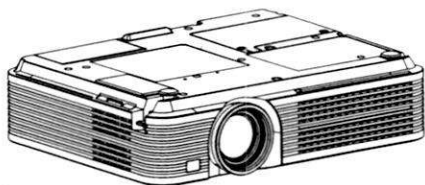
- 温度(TEMP)モニター、ランプ(LAMP)モニターの表示により処置を行うときの電源操作は25ページの「電源の切りかた」の手順を必ずお守りください。
- 温度(TEMP)モニター点滅後、主電源(MAIN POWER)スイッチが切れた場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

エアフィルターの清掃・交換

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますがエアフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

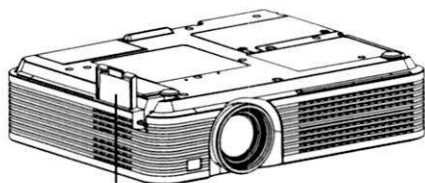
清掃手順

- ①主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。
25ページの「電源の切りかた」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。
- ②本機を静かに裏返す。



お願い

- 本機に傷がつかないように、毛布などの上に裏返して置いてください。
- ③エアフィルターを外す。
エアフィルターにつめをかけて本機から引き出します。



エアフィルター

- ④エアフィルターを掃除する。
たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



お願い

- エアフィルターを吸い込まないようにご注意ください。
- ⑤エアフィルターを取り付ける。

お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ

- 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。

ランプを交換する



警告

- ランプユニットの交換はランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

ランプユニット交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱くと破裂する場合があります。蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

お知らせ

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
ランプユニット品番：ET-LAC75(サービス部品扱い)
- 上記のランプ以外は使用しないでください。必ず指定のランプを使用してください。

ランプユニットの交換時期



ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

交換の目安は2000時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、2000時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

2000時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなります。破裂防止のため、2000時間を過ぎると自動的に消灯します。

お知らせ

- この説明で記載している使用時間は、「オプション2」メニューの「ランプパワー」を「高」に設定して使用された場合の時間です。「標準」に設定して使用されますと、明るさが低下しますが、長くランプを使用することができます。
- 2000時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、53ページや保証書をご覧ください。

	オンスクリーン表示 	ランプ(LAMP)モニター 
1800時間以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2000時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

ランプユニットの交換手順

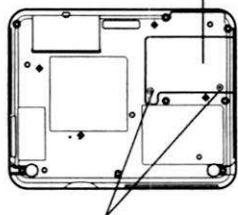
お願い

- ランプユニットの使用時間が2000時間(ランプパワー「高」設定時)を越えた場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順⑦～⑪の操作を10分以内に行ってください。

① 25ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源(MAIN POWER)スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。

② 本機底面のランプユニット収納扉固定ねじ(2本)をプラスドライバーで回し、ランプユニット収納扉を本機から外す。

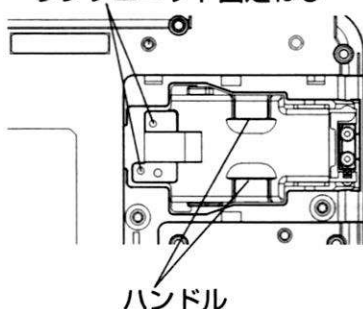
ランプユニット収納扉



ランプユニット収納扉固定ねじ

③ ランプユニットを固定しているねじ(2本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す。

ランプユニット固定ねじ



ハンドル

- ④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける。
- ⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

お願い

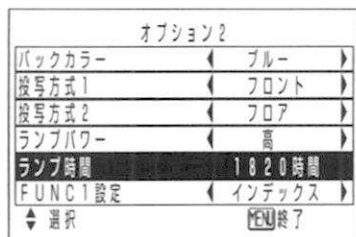
- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる。

お願い

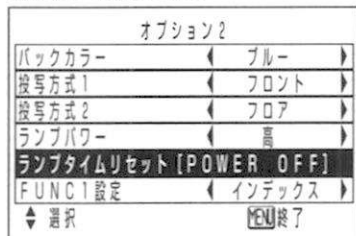
- 主電源(MAIN POWER)スイッチを「ON」にしても電源が入らない場合は、一度、主電源(MAIN POWER)スイッチを「OFF」にし、ランプユニットや収納扉の取り付けを確認後、再度「ON」にしてください。
- ⑦ 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する。
- ⑧ メニュー(MENU)ボタンを押し、「メインメニュー」画面表示させ ▲▼ボタンでカーソルを「オプション2」の項へ移動する。



- ⑨ エンター(ENTER)ボタンを押し、「オプション2」画面表示させ ▲▼ボタンで「ランプ時間」の項を選択する。



- ⑩ エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける。



「ランプ時間」が「ランプタイムリセット [POWER OFF]」の表示に変わります。

お知らせ

- メニュー(MENU)ボタンを押せば、ランプタイムリセットの設定画面を解除します。
- ⑪ 電源(POWER)ボタンを0.5秒以上または2回押して、電源を「切」にする。
ランプ使用時間が「0」にリセットされます。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。主電源(MAIN POWER)スイッチが「切」になっていませんか。コンセントに電源がきていますか。温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。(42ページ参照)ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。
映像がない	<ul style="list-style-type: none">映像入力は正しく接続されていますか。入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(24ページ参照)黒レベル調整が最小になっていませんか。(32ページ参照)本機に接続している機器は正常に動作していますか。シャッター機能を使用していませんか。(38ページ参照)
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none">レンズキャップがかぶさったままではありませんか。レンズのフォーカスは合っていますか。(25ページ参照)投写距離は適切ですか。(23ページ参照)レンズが汚れていませんか。本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(22ページ参照)
色が薄い／色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none">色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(32ページ参照)本機に接続している機器は正しく調整されていますか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音声入力は正しく接続されていますか。音量調整が最小になっていませんか。(15、26ページ参照)
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none">電池が消耗していませんか。極性は正しくセットされていますか。(18ページ参照)リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(18ページ参照)リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。(18ページ参照)蛍光灯などの影響を受けていませんか。

症状	ここをお調べください
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">• 信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。(33ページ参照)• ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。• 本機が対応できない信号を入力していませんか。(52ページ参照)
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">• ケーブルが長すぎませんか。• ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(「Fn」+「F3」あるいは「Fn」+「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)• RGB入力モニター(14、17ページ参照)が消灯している場合は、パソコンから信号が出力されていないことが考えられます。• RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子に信号を入力されている場合に、「オプション1」メニューの「RGB2入出力設定」を「出力」にしていませんか。(36ページ参照)

仕様

使用電源 AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力 220 W(リモコンスタンバイ時約2 W ただし、ファン停止時)

液晶パネル
パネルサイズ 0.7 型(アスペクト比4:3)
マイクロレンズアレイ付き(TH-LC75のみ)

表示方式 透過型液晶パネル3 枚 3 原色方式
駆動方式 アクティブマトリクス方式

画素数

TH-LC75: 786 432 画素(1 024×768 ドット)×3 枚

TH-LC55: 480 000 画素(800×600 ドット)×3 枚

レンズ

マニュアルズーム(1~1.2)・フォーカスレンズ

TH-LC75: F 1.7~1.9, f 21.5 mm~25.8 mm

TH-LC55: F 2.0~2.3, f 22.0 mm~26.2 mm

光源ランプ

160 W UHMランプ

光出力

1 200 lm(ANSI)

対応走査周波数
(RGB信号時)

内蔵データ(ポイントスキャン)方式

	TH-LC75	TH-LC55
水平走査周波数	31 kHz~91 kHz	31 kHz~70 kHz
垂直走査周波数	56 Hz~87 Hz	56 Hz~87 Hz
ドットクロック周波数	100 MHz未満	100 MHz未満

YPbPr信号 525i(480i)、625i、525p(480p)、750p(720p)、HDTV60、HDTV50
カラー方式 6方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM)

投写画面サイズ

33 型~300 型

投写距離

TH-LC75: 1.1 m~10.7 m

TH-LC55: 1.1 m~11.0 m

光軸シフト量

6:1 (固定)

画面アスペクト比

4:3

投写方式

フロント/リア/天つり/床置き (メニュー設定方式)

スピーカー	4.0 cm×3.0 cm だ円型 1 コ
音声実用最大出力	2 W(モノラル)
接続端子	
RGB/YPbPr入出力端子	2系統 高密度 D-sub 15p(メス) (1系統のみ入出力の切り換え可能)
YPbPr入出力時	
Y:	1.0 V [p-p](同期信号を含む) 75 Ω
PbPr:	0.7 V [p-p] 75 Ω
RGB入出力時	
R、G、B:	0.7 V [p-p] 75 Ω
G・SYNC:	1.0 V [p-p] 75 Ω
HD/SYNC:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動 対応
VD:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動 対応
ビデオ入力端子	1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
Sビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω
音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック×2(L-R) 0.5 V [rms]
シリアル端子	D-sub 9p(メス)RS-232C準拠 パソコン制御用
電源コードの長さ	3.0 m
キャビネット	樹脂成型品(ABS/PC)
外形寸法	横幅 310 mm 高さ 85.5 mm 奥行 243 mm(レンズカバー未装着時)
質量	3 kg
使用環境条件	使用周囲温度 0℃~40℃ 使用周囲湿度 20%~80%(結露のないこと)
<リモコン>	
使用電源	DC 3 V(リチウム電池1コ)
操作距離	約7 m (受光部正面)
質量	18 g(電池含む)
外形寸法	横幅 40 mm 厚さ 6.5 mm 奥行 86 mm
<オプション>	
天つり金具	TY-PKC75
フル機能リモコン	TW-RM100
ワイドコンバージョンレンズ	TY-LEC75
※この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。	
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)	

付録

対応信号リスト

表示モード	解像度 (ドット)*1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質*2		リサイ ジング*3		フォー マット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		LC75	LC55	LC75	LC55	
NTSC/M-NTSC/PAL-M	720 x 480i	15.734	59.940		A	A	OK	OK	Video/S-Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.625	50.000		A	A	OK	OK	Video/S-Video
525i	720 x 480i	15.734	59.940	13.500	A	A	OK	OK	YPbPr
625i	720 x 576i	15.625	50.000	13.500	A	A	OK	OK	YPbPr
525p	720 x 483	31.469	59.940	27.000	A	A	OK	OK	YPbPr
HDTV60	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250	A	A			YPbPr/RGB
HDTV50	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250	A	A			YPbPr/RGB
750P	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250	A	A			YPbPr
VGA400	640 x 400	31.469	70.086	25.175	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 400	37.861	85.081	31.500	A	A	OK	OK	RGB
VGA480	640 x 480	31.469	59.940	25.175	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	35.000	66.667	30.240	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	37.861	72.809	31.500	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	37.500	75.000	31.500	A	A	OK	OK	RGB
SVGA	640 x 480	43.269	85.008	36.000	A	A	OK	OK	RGB
	800 x 600	35.156	56.250	36.000	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	37.879	60.317	40.000	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	48.077	72.188	50.000	A	AA	OK		RGB
MAC16	800 x 600	46.875	75.000	49.500	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	53.674	85.061	56.250	A	AA	OK		RGB
	832 x 624	49.725	74.550	57.283	A	A	OK		RGB
XGA	1 024 x 768	48.363	60.004	65.000	AA	A			RGB
	1 024 x 768	56.476	70.069	75.000	AA	A			RGB
	1 024 x 768	60.023	75.029	78.750	AA	A			RGB
	1 024 x 768	68.678	84.997	94.500	AA	A			RGB
	1 024 x 768i	35.520	86.952	44.897	AA	A			RGB
MXGA	1 152 x 864	63.995	71.184	94.200	A	A			RGB
	1 152 x 864	67.500	74.917	108.000	B	B			RGB
	1 152 x 864	76.705	85.038	121.500	B	C			RGB
MAC21	1 152 x 870	68.681	75.062	100.000	B	B			RGB
MSXGA	1 280 x 960	60.000	60.000	108.000	B	C			RGB
SXGA	1 280 x 1 024	63.981	60.020	108.000	B	B			RGB
	1 280 x 1 024	79.977	75.025	135.001	B	C			RGB
	1 280 x 1 024	91.146	85.024	157.500	B	C			RGB
UXGA	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000	B	C			RGB

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。

*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

B データを間引いて簡易投写しています。C 投写できません。

*3 リサイジングの項にOKのついている信号は、映像メニューのリサイジング(35ページ)を設定できます。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体1年間。
ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

3. 修理を依頼される時

48ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎていた場合は

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

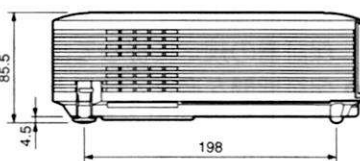
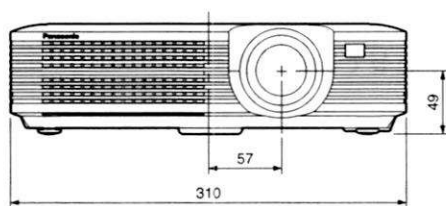
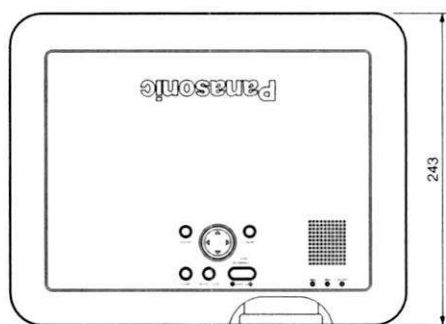
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

外形寸法図

<単位：mm>



商標について

- VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

S0102-4112E

松下電器産業株式会社
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161